
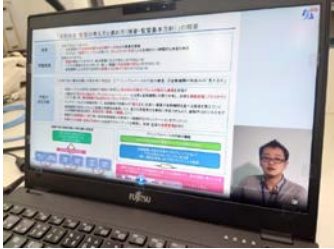


府省名	金融庁	部署名	総合政策局リスク分析総括課検査監理官グループ
取組のポイント			
<p>金融機関に対するモニタリング業務(検査・監督)に従事する職員向けに、専門性の高い金融実務知識やモニタリングスキルなどを習得するためのオンデマンド受講が可能な「動画研修」を職員が内製化し、R2.7月から提供(講義本数64本・総収録時間2,895分)。地方勤務の職員も含め、参加人数・時間・場所の制約を受けないことのない効率的な能力開発環境が実現。</p>			
取組概要			
<p>【取組の背景】 金融行政を取り巻く環境変化を踏まえ、新たな検査・監督体制に即した人材育成システムの構築及び、長年の経験により培った高度な専門知識・スキルの継承が大きな課題。それらに適した研修を模索していたところ、コロナ禍により、従来型集合研修が困難になったことから、有効な解決策として「動画研修」を導入することとした。その際、動画の撮影・編集を外注するとコストや機動性の面でネックとなることから、職員による内製とした。</p> <p>【取組の内容】 ○導入の検討・準備 動画作成の手法・ノウハウ・機材等に関し、書籍や投稿動画などで把握・理解し、内製による実現可能性を検討。 ○講義の撮影、動画編集・書出し モニタリング部門に属し高度な知識・スキルを有するベテラン検査官・監督官・専門家を中心に講師を調整・依頼。撮影手法は、実践経験を積む中で、改善を繰り返し、定型モデルを確立。動画の編集・書出し手法・設定等、度重なるトライ&エラーの末、最適化を実現した。 ○提供開始 定期人事異動後の夏期に合わせ、令和2年7月中旬から、内製動画研修(講義本数64本・総収録時間2,895分)の提供を開始(その後も順次コンテンツ追加)。 ○受講促進策の打ち出し グループウェア上に人材育成のポータルサイトを構築。動画へのアクセスを容易にし、参考情報を掲載。</p> <p>【取組の成果】 地方勤務の職員含め、参加人数・時間・場所の制約を受けないことのない効率的な能力開発環境を実現。受講者アンケート結果によれば、「研修日程等に縛られずに、受講タイミングを自ら判断できるのが良い」が47%、「戻って再生したり、何回も視聴でき、理解の定着に役立つ点が良い」が40%と、ポジティブな評価が多数。また、視聴場所は、「自宅(テレワーク中)でクライアントPCで個人視聴」が8%あり、働き方改革のツールとしても有効と認められる。</p>			
			
【動画撮影の様様】		【クライアントPCでの視聴】	
講評			
<p>在宅でも受講可能な動画教材であり、自前での動画作成も評価できる。受講する側のWLBや働き方の柔軟化にも寄与し、受講者からの評価も高い。今後、研修内容の更新に備えた作業工程の継承・内製作業の更なる効率化を期待。</p>			